**ICTベーシックⅠレポート課題**

**目に見えない心の病**

**～精神障害が引き起こす労働災害～**

**提出日：2017年7月25日**

**学部：農学部**

**学科：農学科**

**学籍番号：1610170081**

**名前：荒井　優里花**

1. **はじめに**

昨今の日本では、今まで性格と思われていたものが精神的な「病気」であるという認知が増えてきている。しかし、精神の病とは見えにくいものであり、それが原因でいじめや自殺が起こり、そのことに対する論争も数多く発生している。その中でよく話題にあがる「うつ病」を主として、「こころの病気」による労災認定の問題について調査した。

・うつ病：過度なストレスや体の病気、性格などの様々な要因が重なることで脳に機能障害がおこり、感情のコントロールができなくなる病気である。自分でも気づきにくいため、一人で苦しんで自殺してしまうことが多い。また、症状によって色々な分類があり、現在も増えたり変化したりしている。

　　・労働災害（労災）：労働者がその仕事によって被る負傷、疾病、死亡などのこと。認められると様々な補償を受けることができる。認定されるためには、通勤中により被害を受ける「通勤災害」または、業務上（業務と受けた被害の間に一定の因果関係があることが重要）に被害を受ける「業務災害」であることが認められなければならない。

精神障害として労災認定される心理的負荷の程度は、厚生労働省が定めた労災認定基準で、業務による心理的負荷が「強」でなければならない。

1. **調査結果**
	1. **精神障害の労災認定**

　最近、電通の社員が過労によりうつ病を発症し、自殺をしてしまうという事件があった。他にもうつ病などの精神障害により、労災認定を受けるような人は数多くいる。特に近年は、若者の労災認定の増加が目立っている。厚生労働省の調査では、以下のような結果が出ていることが朝日新聞で報じられた。

*「心の病」の労災認定、過去最多　２０代の増加目立つ*

*2017年7月1日03時07分*

 *過労などが原因で「心の病」を患い、労災認定された人が２０１６年度は４９８人となり、２年ぶりに過去最多を更新した。職場のパワハラが原因で認定されるケースの増加が目立つ。体の病気による労災認定は、政府の「働き方改革」で残業時間の上限規制の適用を５年間猶予されることになった運送業が突出して多く、規制の強化を求める声が出ている。*

*厚生労働省が３０日、１６年度の「過労死等の労災補償状況」を公表した。労災は各地の労働基準監督署が認定する。労働者の病気やけがが業務に起因するかどうかを、労働時間や勤務形態、仕事中に起きた出来事などから総合的に判断する。うつ病など「心の病」を発症して労災を請求した人は１５８６人。４年連続で過去最多を更新した。*

*労災認定されたのは４９８人。１４年度（４９７人）を上回り、こちらも最多となった。原因別にみると、職場でのパワハラを含む「嫌がらせ、いじめ、暴行」が７４件。生死に関わる病気やけが、極度の長時間労働といった「特別な出来事」（６７件）や「仕事内容・仕事量の変化」（６３件）などの原因を上回り、比較可能な１１年度以降で初めて最多となった。*

*年代別では、２０代の増加が目立つ。３０代～５０代が前年度より微減となる中、２０代は２０人増えて１０７人となり、全体を押し上げた。*

*労災認定された人のうち、自殺や自殺未遂をしたのは８４人。広告大手、電通の新入社員で１５年末に過労自殺した高橋まつりさん（当時２４）も含まれる。労災の請求件数や認定件数の増加について、厚労省の担当者は「（電通事件で）精神障害が労災対象になることが周知されたことも要因の一つだ」としている。*

また、内容は被るが、時事通信社ではこの話題についてさらに細かく記載されている。

*****過労で心の病、最多４９８人＝昨年度、自殺・未遂は８４人－若い世代増加・厚労省***

*厚労省職業病認定対策室は「職業による精神障害が労災対象と周知されたことで、認定件数が過去最多となった。労働時間より職場での人間関係が原因となったケースが目立った」としている。
　労災申請は７１人増の１５８６人と、４年連続で最多を更新した。
　労災認定を年代別に見ると、３０代（１３６人）と４０代（１４４人）、５０代（８２人）でわずかに減ったが、２０代（１０７人）は２０人増、１０代（９人）で７人増だった。過労自殺も２０代が１４人から２２人に増え、ゼロだった１０代は２人いた。
　認定された人の月の平均残業は、２０時間未満が８４人、１６０時間以上が５２人、１００時間以上１２０時間未満が４９人など。発症要因は連続・長時間勤務など「仕事の質と量の変化」が１４９人と多く、いじめや上司とのトラブルといった対人関係の１００人、事故・災害体験９５人、仕事の失敗やノルマの３０人が続いた。
　業種別では製造（９１人）、医療・福祉（８０人）、卸売り・小売り（５７人）の順に多かった。
　（2017/06/30-15:45）*

自分が想像していた以上に多くの人が職場での人との関わりを苦に感じていることがわかった。しかし、死んでしまってから補償するというのには違和感が拭いきれない。

* 1. **認められなかった労災認定**

上記より、精神障害による労災認定が過去最多と言われているが、認定されるには難しく、以下の毎日新聞社とYahoo!ニュースにあった以下の２つの記事のような事例もある。

*山口・性同一性障害女性*

*うつ病、自殺巡り労災認めず*

*毎日新聞2017年1月25日 19時21分(最終更新 1月25日 19時21分)*

*広島地裁判決「退職強要があったと認めることはできない」*

*山口県岩国市の中古車販売会社に勤務していた２０代の女性社員が２００９年に自殺したのは、性同一性障害を理由に退職を強要されたストレスなどが原因として、遺族側が国を相手取り遺族補償年金を不支給とした労働基準監督署の処分取り消しを求めた訴訟で、広島地裁は２５日、請求を棄却する判決を言い渡した。末永雅之裁判長は「退職強要があったと認めることはできない」と判断した。*

*判決などによると女性は０８年１１月、勤務先の同僚に性同一性障害であることを告白。その後、同僚から「一緒に働けない」などと言われ、上司からは退職を迫られ解雇された。女性はうつ病になり、０９年１月に自殺した。遺族は岩国労働基準監督署に労災保険法に基づく遺族補償年金の支給を申請したが、不支給処分となった。*

*判決では、うつ病と自殺の原因は「業務外」とし、業務内か業務外かの判断基準は性同一性障害とは関係なく「平均的労働者を基準とすべきだ」とした。*

*ソニー社員自殺、労災認めず　地裁「業務原因ではない」*

*2016年12月21日21時23分*

*ソニー（本社・東京）のエンジニアだった男性（当時３３）がうつ病を発症して自殺したのは上司のパワハラなどが原因だとして、両親が労災認定を求めた訴訟の判決が２１日、東京地裁であった。佐々木宗啓裁判長は「業務が原因で精神障害になったとは認められない」として、両親の請求を棄却した。*

*判決によると、男性は２０１０年に自殺。労働基準監督署が労災と認めない決定をしたため、両親が取り消しを求めて提訴した。*

*判決は、男性が同年７月ごろから退職を強要され、強い心理的負荷を受けたと認めた。だが男性はそれ以前に適応障害を発症していたと指摘。労災の認定基準に照らし、業務が原因によるうつ病の発症や自殺とは認めなかった。*

*原告代理人の川人博弁護士は「認定の枠組みに問題がある」と述べ、控訴する意向を示した。*

朝日新聞のグラフより、申請中の多くは認定されておらず、このようなケースの方が圧倒的に多いであろうことが窺える。

* 1. **精神障害による労災認定への意見**

こういった精神障害が労災認定されることについて、どのように考えられているのか、2ちゃんねるの掲示板の書き込みを見ると、主に20代にこころの病の労災認定が増加したことに対して、

*7名刺は切らしておりまして2017/07/01(土) 11:03:59.02ID:i7aM0091*

*日本人の遺伝子劣化*

*9名刺は切らしておりまして2017/07/01(土) 12:10:15.34ID:RDkqg7HZ*

*ゆとりの甘えか。*

といった否定的な意見や、

*37優しい名無しさん2017/06/23(金) 20:15:28.14ID:nOd6gbt6>>39*

*過労死できるまで会社に通える人って凄いよな*

*普通バックレるでしょ*

*仕事より命よ*

*39優しい名無しさん2017/06/25(日) 14:14:05.78ID:3G5urviM*

*>>37*

*極限まで追いつめられると*

*そういった逃げるっという思考が出来なくなるのよね。*

という感じに、どちらかというと擁護するような意見もあり、他にも自分の経験から論じる人もいて、様々な考え方を見ることができた。

また、現時点で労災認定の申請をしていたり考えている人もいるようで、そういった人からの質問等に対して、

　*28優しい名無しさん2017/05/16(火) 07:48:37.18ID:6+2vz6ks*

*厚生労働省に情報提供しても実際に動くのはやる気ない労働基準監督署*

*76優しい名無しさん2017/07/24(月) 19:56:44.12ID:RWDOeZvI*

*労働組合は百害あって一利なし*

といった風の労働組合について手厳しい言葉が多くあり、その反面、

*75優しい名無しさん2017/07/24(月) 19:51:31.92ID:LPP3r0l0>>77>>80*

*外部のきちんとした組織とか近くの組合に相談しな*

*こんな荒れた糞スレの書き込みなんて全く当てにならんよ*

*77優しい名無しさん2017/07/24(月) 20:22:48.84ID:LPP3r0l0>>80*

*>>75*

*確かに、組合に相談するのがよし*

*最近は労災の知識も豊富だからね*

*相談は無料なので、取り合えず相談してみるといい*

*いくつかの組合に相談するとより良い*

*こんなネットの書き込みなんて全く役に立たないよ嘘も多いし*

と匿名掲示板の信憑性について説いているものもあり、こういった掲示板は個人の意見の場としては良い部分が多々あるが、情報源として活用するには十分な注意が必要であることを感じさせられた。

1. **考察**

今回のテーマを調べるにあたって、多くの精神障害の労災認定者のグラフや記事を見て、過去最多を繰り返して強調しているが、それが良いことなのか悪いことなのかがいまいち分かりにくかった。厚労省は、電通会社で起こった過労自殺により認知度が高まったために、精神障害の労災認定が過去最多になったという風なこと話したようだが、もしそれを肯定的な意味で言っているのであれば、それは間違っている。最終的に我々が目指さなければいけないのは、労働者が労災認定に申請しなければいけないような状況を無くすことだからだ。グラフを見ると、申請する人は年々増えている。それに対して労災認定される人の数はほとんど減っておらず、過去最多と言われる2016年でさえ、その前の最大数であった2014年に比べて1人しか増えていない。これでは良くなるどころか、悪くなる一方である。認定されない理由に関しても、納得できない点が多い。そもそも人間の「精神」に基準を設けることは、「個」を否定することになる。痛みの程度は当人にしか分からないのだから、他者が勝手に枠組みを作りどうこう言っていいものでない。特に心に関しては、いくら公正な裁判員といえども差があるはずだ。

また、20代に増加傾向が見られるのはゆとりの影響もあるかもしれないが、認定者の多い職種に福祉・医療があることから、少子高齢化社会により、若者の負担が多くなっていることもあるのではないだろうか。ゆとりだとか甘えだと言う前に、なぜそうなってしまったのかも考えて欲しいと思う。

山口県の性同一性障害の女性の自殺についても、もっと考えるべきところがあったのではないかと感じた。業務内か業務外かの判断基準は性同一性障害とは関係なく、平均的労働者を基準とするというのは、差別のない平等な考え方であるとは思う。しかし、性同一性障害であることを告白してから退職を強要されたり、同僚から距離を取られたというのにそれがうつの原因にならないと考えるのは、性同一性障害をうつ病が発症しうる様な精神的病気の一種と考えているからなのでなないか。そういった差別的見方も改善していくべきだ。

しかし、だからといって補償するのにも限界があることは事実であるし、精神的なことについて良し悪しを決めるのはとても難しい。だが、自殺してしまうというのは相当追い詰められていたということなのだから、その人の過去に関係なく十分考慮に入れられるべきものだと考える。怪我などはともかく、うつ病による過労自殺は、周りの理解や意識を変えれば防げる可能性は大幅にあがる。目に見えない病気だからこそ、「どうせ～だろう。」という決めつけではなく、「もしかしたら～かもしれない。」と一歩でも立ち止まって考える、というように他者を思いやる考え方を大事にしていきたい。

1. **参考**

・「みんなのメンタルヘルス」[http://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease\_depressive.html　7/23](http://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease_depressive.html%E3%80%807/23)

・「福島労働局」[http://fukushima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei\_seido\_tetsuzuki/rousai\_hoken/hourei\_seido/hosyo\_gyousai.html　7/23](http://fukushima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei_seido_tetsuzuki/rousai_hoken/hourei_seido/hosyo_gyousai.html%E3%80%807/23)

　・「朝日新聞」

<http://www.asahi.com/articles/ASK6Z5Q7NK6ZULFA02Y.html>　7/11（以下7/11）

　・「時事通信」

　　http://www.jiji.com/jc/article?k=2017063000831&g=soc

　・「毎日新聞」

https://mainichi.jp/articles/20170126/k00/00m/040/052000c

　・「Yahoo!ニュース」

https://news.yahoo.co.jp/pickup/6224902

　・「2ちゃんねる」

<http://mevius.2ch.net/test/read.cgi/utu/1491719733>

http://egg.2ch.net/test/read.cgi/bizplus/1498869530